

JEITA共通クライアントソフトウェアのご利用案内

一般社団法人 電子情報技術産業協会（以下「JEITA ECセンター」という）では、インターネットを活用したEDIデータの送受信を安価かつ容易に実現する標準ソフトウェアの開発に取り組み、『共通クライアントソフトウェア』を2006年6月に一般公開しました。この度、実行環境であるJavaについて、利用条件の拡充を図るためOpenJDKを利用した検証を完了しました。Javaの利用にあたっては、ライセンス、サポート内容を考慮の上選択してください。

『共通クライアントソフトウェア』は、JEITA ECセンターが電子データ交換（EDI）の更なる普及促進活動の一環として無償提供するものです。インターネットの環境が整備された企業は、JEITA ECセンターのホームページから『共通クライアントソフトウェア』のダウンロードを行なって利用することができます。『共通クライアントソフトウェア』の利用に当っては、JEITA共通クライアントソフトウェア利用規約に関する合意と規約内容を遵守して頂くものとします。詳細は、『共通クライアントソフトウェア利用規約』をご参照願います。

本ご利用案内では、共通クライアントソフトウェアのインストールの概要について記述しております。共通クライアントソフトウェアのインストールや環境設定は、本ご利用案内とダウンロードした共通クライアント利用解説書を基に作業を進めて下さい。

1. 共通クライアントソフトウェアの環境構築の流れ

共通クライアントソフトウェアの環境構築の手順は、以下の1)～3)の手順を踏んで完了となります。4)は、共通クライアントの起動方法を記述しております。

- 1) 共通クライアントソフトウェアの入手
- 2) 共通クライアントソフトのインストール
- 3) 共通クライアントソフトの環境設定
- 4) 共通クライアントソフトの利用方法

2. 共通クライアントソフトウェアの入手

1) JEITA ECセンターホームページからダウンロード

『共通クライアントソフトウェア』は、JEITA ECセンターのトップページに『共通クライアントソフト（無償）Download』を掲載しておりますので、こちらをクリックして「共通クライアントソフトウェア」を入手して下さい。

2) 利用者は、以下のファイルがありますのでダウンロードしてください。

- 1 共通クライアント説明書類
- 2 ソフトウェア本体、インストーラ

3. 共通クライアントソフトのインストール

1) 準備

ダウンロードしたファイルの全てを解凍してください。

2) インストール作業

「共通クライアント利用解説書Ver 1. 8」に従ってインストールします。

- ① J a v a のインストール
- ② 共通クライアントのインストール

4. 共通クライアントソフトの環境設定

1) 環境設定

利用設定画面を利用して環境設定を行います。

5. 共通クライアントソフトの利用方法

本項では、E D I データが作成されてからこの作成されたデータを送信したり、受信したりする方法について記述します。

1) 共通クライアントの起動方法

共通クライアントの起動は、バッチファイルによる実行と A P I による実行が出来ます。

2) 送信コマンド利用

送信用データの作成がおわりましたら `jeita` フォルダの `ediclient` フォルダの `data` フォルダの `send` フォルダに送信用データファイルをセットします。(または、利用者で設定したフォルダ) 送信データセットが完了しましたらコマンドで `send` フォルダにセットしたファイルが送信されます。

3) 受信コマンド利用

コマンドを実行すると、設定ファイルに定義した接続先サーバ (含む A S P プロバイダ) から E D I データを受信することが出来ます。

不明な点がありましたら下記のメールアドレスまでご連絡願います。

Email: eccfaq@jeita.or.jp

メールのタイトルは『共通クライアント』を明記して下さい。

以上